



獅子島架橋早期実現に向けて要望書を提出 夢の架け橋へ前進



2月18日、川添町長と獅子島架橋建設促進期成会、長島町商工会女性部などが塩田知事のもとを訪れ、町民一丸となって獅子島架橋実現にまい進する旨を記載した「獅子島架橋の早期実現に向けての要望書」を提出しました。顧問として中村素子県議会議員も同席。同期成会や獅子島振興会、同女性部の代表者が「獅子島架橋が完成した時には、塩田知事と渡り初めをしたい。私が歩けるうちに早期実現を」などそれぞれの思いを塩田知事に話し、獅子島架橋実現へ着実に前進しました。

町内で卓球教室 今後に生かしていく



3月21日、B&G海洋センター体育館で卓球教室を開催し、町内の児童生徒12人が参加しました。部活動や少年団で活動する選手の技術向上を図るとともに、実技指導と相互交流、親睦を図ることを目的としています。この日は、薩摩川内市の実業団に所属する選手8人を講師に招き、参加者は講師の丁寧な指導を受けた後、練習試合を行いました。

参加した小場凜花さん（長島中2年）は「今回学んだことをこれからの練習に生かしていきたい」と話しました。

民生委員児童委員へ感謝状 できることをできる人が



3月23日、令和7年に町の民生委員児童委員を退任した大堂きみ子さん、岩下昭人さん、前田博子さん、有馬和代さん、田淵玲子さんの5人に長年の功績と社会福祉の増進への貢献をたたえ、厚生労働大臣から感謝状が贈られ、川添町長が伝達しました。同委員を18年間務めた田淵さんは「長年元気で務めあげることができたのは、先輩がたや行政のおかげと感謝している。『できることをできる人が』をモットーにこれからもがんばっていきたい」と笑顔で話しました。

交通安全キャンペーン「アオサ作戦」 交通ルールの遵守とマナー向上を



4月6日から15日までの10日間、令和8年春の交通安全運動が行われました。県の今年度スローガンは「ゆずり合い愛があふれる鹿兒島路」で、交通ルールの遵守とマナーの向上や「ながらスマホ」の根絶、歩行者優先などの安全運転意識の向上など3つを重点としています。

4月6日は、阿久根地区交通安全協会長島支部の会員や東町漁協の職員、阿久根警察署の署員が参加し、事故未然防止を図ろうと赤崎橋パーキングパークで恒例の交通安全キャンペーン「アオサ作戦」を実施しました。